

問 学校教育と地域の連携

答 地域の人を活用している

問 学校教育において保護者・教師・子供の意思のコミュニケーションが不可欠であるが、子どもの少子化と保護者の意識の変化に伴い、地域との深い関わり、共に見守っていく眼差しが必要と考えている。退職された方々や農業に詳しいお年寄り等、ボランティアとして学校運営に係わって頂く方向性はないのか。

答 方法については、ゲストティーチャーとして人材バンクを作り、必要に応じて学校がお願いするという形が多くある。合併により地域が広がったので、広域的な活用を指導している。

答 (山田教育長) 本町の小学校、中学校では、地域社会との係わりを深め、開かれた学校を目指している。授業時間に地域の方々にゲストティーチャーとして呼び出し成果等をあげている所である。



夏休みも安全にすごさせたい。

問 昼間の学校警備は

答 危機管理に万全を期す



吉原美智恵議員

問 学校の警備は現在夜間のみであるが、現代において、生徒が居る昼間、警備体制をとる考えはないのか。

答 (山田教育長) 昨今の状況を見ると学校の安全確保は重要であると認識している。現在、八橋署の学校巡回や地元の駐在所の定期パトロールをして頂いているので、昼間の警備員配置は考えていない。

問 ゴミ袋の再検討を

答 合併協議会で決定

問 ゴミ袋が合併に伴い一枚100円ということになり、全住民が十分納得しているとは言えない状況である。また、少子高齢化の中、乳児を抱えた核家族では、子育ての苦労の上に、家計が苦しく、私の調査では、新生児の紙オムツ用に、一週間一袋余分に必要という状況である。また、高齢家庭では、今のゴミ袋の半分ほどの大きさのものが切望されている。この問題についてキメ細かい再検討の考えはないのか。

防災行政無線放送

問 旧名和町では、10時と3時に健康体操があり、外で働く人達の時報替わりとなっていた。たいへん便利であったものが無くなり、困っているということである。せめて、チャイムか音楽を流されてはどうか。区長を通してのアンケートの考えはないか。

答 (山口町長) 現在のチャイム放送は、合併協議会の中で旧3町の状況を勘案しながら決定された。屋外受信機の付近の住民は音声がうるさく電源を切っている話も聞くところである。各区長を通してアンケートが必要かどうか、区長さんの意見も聞き、必要であれば検討を加えていく。

答 (山口町長) ゴミ袋一律100円は、合併協議会でゴミ減量の観点の議論の中で結果である。鳥取県西部の最終処分場の残容量考慮の上、旧大山町方式を採用した。個々の事情の中で理解する部分はあるが、取り合えず運用しかけていますので、時間をかけて検討していく必要がある。